

百葉

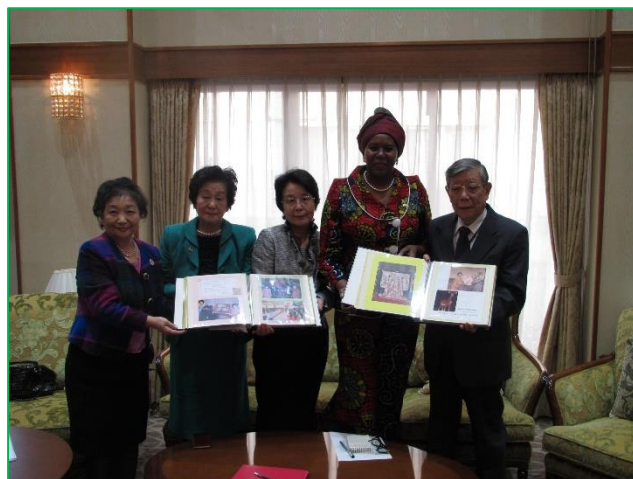
Manyoh

輝く日本とタンザニア共和国の未来の為に

タンザニア独立記念日をお祝いして

去る12月9日、タンザニア共和国の独立記念日に一冊の会代表メンバーがタンザニア大使主催のお茶会にお招き頂きました。美しい民族衣装のバチルダ・S・ブリアン大使は満面の笑顔で、一人ひとりと握手で「Welcome」と暖かい歓迎のお言葉で迎えて下さいました。

緊張をほぐす大使のお心づかいで、会は和やかな雰囲気の中で始まりました。最初に一冊の会並びに日本タンザニア友好協会の大槻明子会長がブリアン大使就任への祝辞を述べられ、待望の女性大使とこれからさらに絆を強め、共に活動していきたい旨を熱く語られました。一冊の会とタンザニア国



との51年間のあゆみと経過報告書と写真集を収めたアルバム（輪島塗で表紙象嵌2冊）を贈呈し、歴代大使と歩んだ足跡をお伝えしました。ブリアン大使は今日までの活動を理解され、思わず大槻会長にハグされて感謝の思いを表現されました。そして一冊の会の総意としてのメッセージを発表。英語翻訳スピーチをヤンググローリア部の村岡がさせて頂きました。大使は真剣に耳を傾けて下さり、大きな拍手で応えて下さいました。拙い英語でしたが、大使の前で精一杯の想いを伝えることができ、生涯の思い出と成りました。

続いてのブリアン大使の素晴らしいご挨拶に会場は感動に包まれました。大使の誠実なお人柄と日本とタンザニアの未来への深い情熱が参加者一人一人の胸に響きました。ここにブリアン大使のお言葉を少し引用させて頂きます。

大槻会長、有難う御座います。新しく一冊の会の理事長とされました石田様、どうぞ宜しくお願い致します。そして一冊の会の全ての皆様、永年のタンザニア共和国への温かいご支援に心からの感謝を申し上げます。私は大使として来日する際に大統領より日本での公務にあたり、多くの日本の皆様とお会いして、相互理解と友好を深めるという大事なミッションを授かりました。佐藤啓太郎大使、矢野先生をはじめ一冊の会、日本タンザニア友好協会のお力を大変心強く思っております。初めて大槻会長と小山さんとお会いした時、エレガントで、情熱的で、エネルギーに満ちたお振舞いが大変に印象的でした。私は、末永くお付き合いをして行こうと思いました。佐藤大使はタンザニアでは大変有名な方で、当時の建設大臣も御世話になったと大変感謝しておりました。矢野先生にも多くのご支援を頂いております。

また、一冊の会が東北震災の支援活動の度に、タンザニア国も共々に協力している事を、現地にお伝え下さった事を知り本当に感謝しております。来年の5月に計画されている被災地への植樹の際は、私も一緒に現場へ赴き活動させて頂きます。

私は今年5月就任以来、大使としてインパクトのある仕事をしていきたいと考えております。安倍政権は「女性が輝く社会の実現」に向けて取り組んでいます。タンザニアも共に活動していきたいと希望しています。

一冊の会の皆様からお知恵を拝借出来たら幸せて御座います。また来年 TICAD が初めてアフリカで開催されます。アフリカの発展の為に日本の NPO 団体等のお力を借りることが出来たらと思います。一冊の会が歴代のタンザニア大使と共に行っていた【コーヒアワー】を復活させ、より緊密な関係を築かせて頂きたいと願っております。

来年 2016 年の 4 月は日本タンザニア友好協会の設立 10 周年と聞いております。是非一緒にお祝いのお場を設けたいと願っております。本日はタンザニア大使館にお越し下さいまして誠に有難う御座いました。

続いて、佐藤大使がブリアン大使就任への祝辞とともに、ご自身のタンザニア赴任中の楽しいエピソードを語って下さいました。プレゼントに“ヤギ”が大使公邸に届けられびっくり！そのユーモラスなお話にもブリアン大使も大笑いされ、会場はなごやかな空気に包まれました。

その後、公邸の庭に一冊の会の真心で植樹された三春の滝桜（高円宮妃久子殿下御手植え）、雪香プロスパーポローニア（早成桐）を眺めながら、美味しいタンザニア料理やキリマンジャロコーヒーの御接待を頂き、感激のひとときを堪能致しました。親善大使“ドン・アルマス”、“カズン”が大使の前で、感謝とタンザニアへの熱い思いを語り、素晴らしい演奏を披露致しました。大使はじめ職員の皆様も情熱的な調べ、美しいハーモニーに感動され立ち上がって絶賛の大拍手。最後に親善大使の“さくら阿波踊り”の高田さんが来年はブリアン大使も一緒に阿波踊りを！と、お誘いのご挨拶をされました。堅い握手——。



大使公邸

大きく成長した雪香プロスパーポローニア

楽しい感動の時間はあっという間に過ぎ、公邸をお暇する時間となりました。最後に石田新理事長が、「私には見えます、近い将来、この部屋に日本の子供たちが集まり、そして壁にはスクリーンが張られ、笑顔輝くタンザニアの子供たちがいるのです。お互い国を超えた友情がそこには生まれており、会話を楽しみ、交流を楽しんでいる姿が見えるのです。日本とタンザニア共和国、これからも是非手を携えて輝く未来へと向かって今日この場から、新しいスタートを切って参りましょう！」と挨拶をされると、ブリアン大使は大変に感動されて、素晴らしい未来を是非とも私達の手で創りましょうと力強いお声で会を閉じられました。

一人ひとりが、友好大使の自覚に燃え自らの成長を誓い帰途につきました。

編集・文責：大槻・小山・村岡、三坂・福井



ブリアン大使と一冊の会親善大使たちと